

地区紹介

大曽根地区

日々頑張っています

大曽根の青少年指導員は14名。子どもたちの笑顔のため、日々頑張っています。連合町内会長の和泉さんは元青指の会長で、頼もしい味方です。

新年の行事「昔遊び体験」は地域の方と一緒に羽根つきやお手玉などで遊び、PTAやスポーツ推進委員のついたお餅を食べて、春を感じる一日です。今年の夏の「盆踊り大会」は小学校の校庭で2日間行われます。場内パトロールや最後まで踊った大勢の子どもたちにアイスクャンディーを配るのは大仕事ですが、今から楽しみです。



大倉山地区

サマーデイキャンプ

夏休み恒例行事でサマーデイキャンプがあります。地区内の小学生150名位の参加人数で、1日楽しく過ごしてもらおう企画です。運営は、青少年指導員とスポーツ推進委員と参加児童の親御さんたちの多大な協力を得て行われています。内容はウォークラリー、ゲーム大会、スイカ割りなど盛りだくさんです。スポーツコーナーでは、グラウンドゴルフとペタンクを青指、スポーツで指導しながら体験してもらい、バスケットボールは地元中学の女子部員の協力で、みんなで楽しく体験していました。夕食は、お母さんたちと高学年の希望者でカレーライスを作り、体育館で食べました。最後には、スポーツによる花火大会をやりました。スタッフには長い1日の終了でした。



城郷地区

戦国時代へようこそ！

わが城郷はその名の通り「城の郷」。室町時代に築城、後に北条氏の支城になったとされる小机城があった地域なのです。

現在城址は市民の森となり、毎年4月に「小机城址まつり」が開催されます。この日私たち青少年指導員は、凛々しい武者に変身し、武者行列や出陣式に臨みます。その姿はさながら戦国時代にタイムスリップしたかのよう。模擬店あり、太鼓演奏あり、楽しいイベントです。

私たちは裏方としても活躍していません。皆様、是非お越しくださいね。



第24期 広報委員

日吉 那須美奈子	網島 加藤 和弘 (副委員長)	大曽根 笹川 明子
榊町 藤村 善明	菊名 田中 早苗	師岡 菊池けい子
大倉山 高富 義昭 (委員長)	篠原 水野 浩三 (委員長)	城郷 菊地 英子
新羽 金子 清紀	新吉田 青柳 道雄	新吉田 新吉田あすなろ 鈴木 完治
高田 八代聖里奈		

第24期 実行委員

日吉 印牧 敏男 (委員長)	網島 関 一智	大曽根 上野 賢一
榊町 横溝 清和	菊名 一寸木美代子 (副委員長)	師岡 平井 昭夫
大倉山 仲澤 廣	篠原 長井 光子	城郷 中山千加子 (副委員長)
新羽 中山 新一	新吉田 船元 俊之	
新吉田 新吉田あすなろ 伊藤 勝治	高田 山口まどか	

平成26年度港北区青少年指導員協議会 事業計画

事業名	26年度日程	主催	場所
全市一斉統一行動パトロール活動	7月19日(土)	横浜市青少年指導員協議会	区内各地区
社会環境実態調査(有害図書区分陳列調査含む)	7月~8月	神奈川県	区内各地区
ペットボトルロケット製作地区講習会	7月~8月	地区青少年指導員協議会	区内各地区
ペットボトルロケット大会	9月6日(土)	ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会	榊町公園
ふるさと港北ふれあいまつり関連事業	10月18日(土)	ふるさと港北ふれあいまつり実行委員会	新横浜駅前公園
全市統一行動キャンペーン活動	10月18日(土)	横浜市青少年指導員協議会	新横浜駅前公園
自然体験教室	11月8日(土)	港北区青少年指導員協議会	県立足柄ふれあいの村(併)
「成人の日」を祝うつどい	1月12日(祝)	横浜市、他	横浜アリーナ
港北区青少年指導員研修会	2月10日(火)	港北区青少年指導員協議会	未定
ひと声かけ運動	随時	港北区青少年指導員協議会	区内各地区

編集後記

2014年度は青少年指導員の委嘱替えがあり、広報委員も新たなメンバーを迎えてのスタートとなりました。第33号の編集の中で改めて感じたことは、ふれあいまつり、成人の日を祝うつどい、自然体験教室など、青少年指導員が地域に密着した様々な活動に関わらせていただけていることです。これからも、よりたくさんのふれあいを、この「港北青指」でお伝えしていきたいと思ひます。



港北区青少年指導員協議会広報紙

港北青指

第33号
平成26年6月発行
発行者 港北区青少年指導員協議会
編集 広報委員会
事務局 港北区大豆戸町26-1
港北区役所地域振興課内
TEL 045-540-2242
FAX 045-540-2245

港北青指 検索



第24期 スタートにあたって

神奈川県青少年指導員連絡協議会
横浜市青少年指導員連絡協議会

会長 石井 一也

24期のスタートにあたり、紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

私たち青少年指導員が神奈川県及び横浜市より委嘱を受け活動いたしております青少年指導員制度は、発足以来、今年で47年目に入っております。諸先輩が築いてこられた貴重な実績を踏まえ、県下で約5300名、市内で約2700名が各地で様々な形で「青少年の健全育成」に取り組んでおります。近年ではいわゆる「少子化」や「核家族化」そして「インターネット」の急激な発展により、青少年を取り巻く環境は目まぐるしく変化しております。「合理化」を推し進めるあまり、私たちの大切な心までが「デジタル化」へと向かってはいないでしょうか。「デジタルからアナログへ」と舵をきって、再度、私たち人間としての原点を見つめ直し、希薄になってきた「地域との繋がり」「人とのふれあい」の大切さを見据え、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組んでいかなくてはなりません。

残念なこと、私たちの身近なところでも「いじめ」により「不登校」になったり「自殺」にまで追い込まれるという悲惨な事件が発生しており、いっこうに無くなりません。家庭、学校はもとより、青少年関係の友誼団体の皆様をはじめ、地域・社会全体で共通の意識をもって連携を深め、今、まさに本気になって「地域力」を結集して青少年の健全な育成に取り組まなくてはならないと思ひます。内閣府では「国民運動の一層の充実や定着」を図るため、毎年7月を「青少年の非行・被害防止月間」11月を「子ども若者育成支援強調月間」として運動を提唱しております。是非とも「本気度」を発信してまいりたいと思ひます。皆様方の力強いご支援とご協力を賜りますようお願いよりお願い致しご挨拶とさせていただきます。



区長着任にあたって

港北区長

横山 日出夫

今年4月に港北区長に着任しました横山日出夫でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

青少年指導員の皆様には、青少年の健全育成のため、常日頃から様々な活動に率先して取り組んでいただき心から感謝申し上げます。

青少年指導員は、各地区での事業に加え、全市一斉で行われる、社会環境パトロール及び青少年健全育成のためのキャンペーン、社会環境実態調査、各種研修会や大会への参加等により、青少年のための社会環境の健全化に貢献されております。

また、港北区独自の取り組みとしては、毎年夏の終わりに盛大に開催されるペットボトルロケット大会をはじめ、ふるさと港北ふれあいまつりにおけるブース出店や抽選会への協力、自然体験教室などの事業を積極的に展開し、地域において子どもや青少年の健やかな成長を支えていただいております。

さて、少子高齢化や情報化の急速な進展などにより、青少年を取り巻く社会環境は大きく変化しています。中でも、都市化に伴う地域コミュニティの希薄化により、様々な世代の人たちとの交流や体験の機会が減少し、「人間関係を構築する力」や「社会性」を身に付けにくくなっているとも指摘されている中で、青少年指導員の皆様に寄せられる期待はますます高まっております。

これからも港北区の子どもたちが明るく元気に育まれるよう、皆様と力を合わせて青少年の健全育成をさらに進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、今後の協議会のますますのご発展と青少年指導員の皆様のご活躍をお祈りいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

第24期港北区青少年指導員協議会 地区会長一覧

- 大曽根 蛸崎 直広
- 榊町 嶋村 公 (監事)
- 新吉田 伊藤 伸彦
- 師岡 白石 友恵 (副会長)
- 網島 中森 伸明 (監事)
- 高田 荒川 進孝 (会計)
- 日吉 鈴木由美子 (会計)
- 新羽 豊岡 修
- 大倉山 佐々木貞貴 (副会長)
- 新吉田あすなろ 諸橋 則子
- 篠原 石井 一也 (会長)
- 城郷 相原 明夫
- 菊名 小澤 純子



※後列左から時計まわりです。



自然体験教室



スリル満点、楽しい芝ソリ！

だり、肉や野菜を切ったりし、それが終わると飯盒でご飯が炊きあがる様子を興味津々で見入っていました。飯盒がパチパチと音をたてたら、さあ出来上がり、上手く炊けているでしょうか……どきどきです。屋外でご飯を炊くことの難しさは、焦げていたり、硬かったりしたご飯を実際にしたことで、わかったのではないのでしょうか。お腹いっぱいになった子どもたちは、芝そりやおもしろ自転車などがあるキッズガーデンに走って行きました。

決められた時間の中で、仲間と相談し合って行動する姿は、とても頼もしく感じました。寒い一日でしたが、最後まで元気いっぱいの子もたちでした。



ヘビじゃんけん、次の相手は？

平成25年11月9日(土) 港北区青少年指導員協議会は、区内の子もたち167名を引率し、横須賀の「長井海の手公園 ソレイユの丘」にて自然体験教室を実施しました。

当日は、どんよりとした寒空でしたが、4台の大型バスは、ほぼ予定時刻に区役所を出発しました。それぞれバスの中では、クイズなどのレクリエーションが用意され、子どもたちが楽しんでいる間に目的地に到着しました。南仏プロヴァンス地方をモチーフにした緑の丘の園内ですはゲームを行い、各地区の子もたちが班になり参加した〇×クイズやへびじゃんけんで大いに盛り上がりました。



カレーを作るのって楽しいね！

その後、当日のメインイベントである飯盒炊さんに取り掛かりました。子どもたちは、お米を研い

「成人の日」を祝うつどい

平成26年1月13日(祝)、横浜アリーナで「平成26年『成人の日』を祝うつどい」が開催されました。各区から応援に来た青少年指導員と共に、港北区の青少年指導員も奮闘。参加した青指からも、「頑張れ！と応援の気持ちを込めて一人一人に「おめでとう」と声をかけました。『素直でキラキラ輝く二十歳の正装した姿を見て元気もらいました。』『二万人の二十歳の人たちを見る貴重な経験が出来ました。未来を担う若人を頼もしく思いました。』などの言葉を聞くことが出来ました。



第23期 港北区青少年指導員大会



第23期港北区青少年指導員大会

平成26年3月11日(火)、新横浜グレイスホテルに於いて、区内各地より大勢の青少年指導員が参会し、第23期活動の総括(委嘱替含む)の大会が盛大に開催されました。来賓として、和泉港北区連合町内会会長をはじめ多数の方々及び、小川港北区長を中心に各行政関係者の方々に御臨席賜りました。永年勤続者表彰においては、16名の方々が紹介され功績が称えられました。各地区の二年間の活動を振り返った映写の紹介があり、それぞれに趣向を凝らした活動がとても印象的で、大変参考になりました。大会最後の退任者代表の挨拶では、それぞれ退任される皆様への「敬意と感謝」を込めた大きな拍手で、閉会となりました。

ふるさと港北ふれあいまつり・全市一斉統一行動キャンペーン

平成25年10月19日(土) 2013ふるさと港北ふれあいまつりが新横浜駅前公園にて開催されました。

メインステージ並びに各コーナー合わせて約80ブースの出店があり、多くの来場者で大変な賑わいでした。

青少年指導員は、「わくわく大抽選会」の担当とブースでは野菜と飲み物の販売をしました。野菜を求める人が多く、上々の売れ行きでした。林横浜市長もブースに立ち寄ってくれました。



わくわく大抽選会

また、当日「ひと声かけ運動」をテーマに青少年の健全育成への意識を高めていただくとともに、青少年指導員活動のPRを目的として、全市一斉統一行動キャンペーンも実施

しました。場内はもとより東西の入口でキャンペーンのチラシ等を配布しました。

隣接するブースの方々と話が弾んだり、ブースに立ち寄って声を掛けて行く青少年指導員



キャンペーンの様子



青指ブースで林市長と

Bの方やチラシを受け取る際に「ご苦労さん」「ありがとう」と声を掛けてくれる人がいて地域のつながりが感じられた一日でした。

横浜市青少年指導員大会

平成26年3月9日(日)、市内各地より多数の参加者を迎え「平成25年度横浜市青少年指導員大会」が県立青少年センターホールで盛大に開催されました。

第一部では、石井一也横浜市青指協会会長及び鈴木隆副市長より、青少年指導員の熱心な活動に対する感謝と更なる期待の挨拶があり、永年勤続の顕彰者251名に横浜市長より感謝状が授与されました。

第二部においては、的川泰宣氏(はまぎん こども宇宙科学館長、宇宙航空研究開発機構名誉教授・技術参与、東海大学教授、他)による「子ども・宇宙・未来」と題し記念講演があり、日本の科学技術を結集し制作した「はやぶさ」にかかる内容を披露してくれました。まさか、戻ってくるとは、



世界中をあっと言わせた出来事で先生も驚いたとのことでした。先生は、幼い共感と感動が未来を作る。それぞれの人に価値観と生き方の形成される時期があった。などと、ユーモアを交えて話され、会場から笑いが起こる場面もありました。最後に盛大な拍手で終了し、本大会が閉会となりました。

平成25年度横浜市青少年指導員永年勤続者表彰者

20年顕彰者

●新吉田 横溝むつみ

15年顕彰者

●新吉田 船元 俊之

10年顕彰者

- 日吉 栗原 隆治
- 日吉 鈴木由美子
- 日吉 原 美代子
- 綱島 加藤 和弘
- 榑町 大川 朋子
- 榑町 本橋 孝
- 菊名 田中 守
- 師岡 佐藤英美子

20年顕彰受賞にあたって

●新吉田 横溝むつみ

新吉田地区は、春のウォークラリー、夏休み子ども映画会、新春凧上げ大会等、独自の行事も多く、皆様に支えられながら思い出多い充実した年月を過ごさせていただきました。青少年指導員の皆様の益々の御活躍を願っております。

神奈川県青少年指導員大会

平成25年11月24日(日)、逗子文化プラザホールにて「第46回神奈川県青少年指導員大会」が開催されました。

小林逗子市青少年指導員連絡協議会会長の開会のことばにつづき、来賓の方々のあいさつがありました。続いて、永年青少年指導員活動に尽力された60名の皆さんへ感謝状の贈呈がありました。次に、講師、岩崎由純日本ペップトーク普及協会会長の「元気・活気・勇気を与えるトーク術」という講演がありました。

ペップトーク(Pep Talk)とは、スポーツ選手を励ますために指導者やリーダーが競技前に使っている「短い激励のメッセージ=やる気にさせる訓話」とのこと。講師の多くの体験談を交えて、非常に歯切れの良いトークがありました。言葉の持つ力を改めて考える良い機会となりました。

